

色々な気持ちを乗り越えながら…

進級まであと3ヶ月となりました。子ども達がひとつ大きくなり喜びを感じられる時期かと思いますが、そんな時期に見られる子どもたちの姿について、以下の文を参考にしてみてください。

【子ども達のワクワクと不安】

子ども達にとって、ひとつ大きくなれることはとても嬉しいこと！それと同時に“新しい先生、誰だろう？”とドキドキ。特に幼児クラスの子ども達は進級することで様々な変化があるということが分かっているため、大きくなる喜びと変化への不安を口に出す子も中にはいます。けれど何といっても年度末という忙しいこの時期は、仕事も新年度の準備も！！とバタバタしがちですねよえ……。そんな中、子ども達は大人の変化を本能的に、敏感に感じているように思います。いつも以上に慌ただしくなる周囲の環境に不安を感じる様子も見られます。

【家庭での注目したい子どもの行動は？】

- (1) 特に小さいお子さんに見られるのが、ママにべったり！ママじゃなきゃ嫌！あれも嫌！これも嫌！といった、ママへのこだわりや極度のイヤイヤ見られるかもしれません。その不安の表現として、ママへのこだわりや、イヤイヤが激しくなるように思います。
- (2) とにかく言うことの正反対をすることがあります。例えば、「机には乗らないよ～」といえ机に乗るし、「ご飯はパクパク食べるよ～」と言えばご飯で遊ぶ……等等。ただ、ママに見て欲しくて、注目を集めたくてやっているのです。子ども達の心が揺れている時こそ、この注目行動が多くなるように思います。

【家庭での対応策は？】

一番は、子ども達が心落ち着く環境を作る事が大切です。とは言っても大人も人間です。心穏やかにと気をつけていても、常に心を整えることって難しいですよ。ならば！子ども達を受け入れ態勢で対応してみてください。もちろん、“いけないこと”は“いけないこと”として伝えていく必要があります。

ここで受け入れて欲しいのは、そういった子ども達の行動ではなく、“子ども達の行動の裏に隠された心の揺れ”です。子ども達の行動の裏に、どのような揺れがあるのか、何を不安に感じているのだろうかということを考え、接してあげてください。そして、いつも以上にスキンシップをとり、身体的な触れ合いが、子ども達にとっては一番わかりやすい愛情表現です。揺れている子ども達をギュッと抱きしめると同時に、日頃から一生懸命頑張っているママ達自身も子ども達に抱きしめてもらってください！ママも子ども達も疲れた時はグーッ！で、一息ついて心を整えていってくださいね。